

貝毒プランクトン調査

調査年月日	令和8年6月4日	単位：cells/mL				9:00~
種類 / 地点番号	⑨	⑩	⑪	⑫御荘湾	⑬御荘湾	
	北灘	家串	柏	御荘(平山)	成川	
5m水温 (°C)	21.7	22.6	22.4	22.2	23.7	
珪藻類	0	0	0	0	0	
<貝毒プランクトン>						
アレキサンドリウム属	0	0	0.006	0.060	0.023	
ギムノディニウム・カテナータム	0.018	0.027	0	0.061	0.061	
ディノフィシス属	0	0	0	0	0	
<有害プランクトン>						
カレニア・ミキモトイ	0	0	0	0	0	
コクロディニウム・ポリクリコイデス	0	0	0	0.012	0.207	
ヘテロシグマ・アカシオ	0	0	0	0	0	
シャトネラ属	0	0	0	0	0	
種類 / 地点番号	⑬	⑭	A	B		
	船越	深浦	北灘(牛ノ浦)	北灘(宗清)		
5m水温 (°C)	23.8	22.6	21.9	22.0		
珪藻類	0	0	8	0		
<貝毒プランクトン>						
アレキサンドリウム属	0	0.261	0	0.008		
ギムノディニウム・カテナータム	0.320	0.098	0.008	0		
ディノフィシス属	0	0	0	0		
<有害プランクトン>						
カレニア・ミキモトイ	0	0	2	2		
コクロディニウム・ポリクリコイデス	0	0.010	0	0		
ヘテロシグマ・アカシオ	0	0	0	0		
シャトネラ属	0	0	0	0		
状況	<p>船越において、危険濃度を上回るギムノディニウム・カテナータムが確認されました。また、岩松湾では二枚貝の毒化が確認されていますので、採取・喫食を控えるとともに、今後の動向にご注意ください。</p> <p>※0~7m各層を等量混合し、1,000倍濃縮検鏡。</p> <p>【危険濃度】 アレキサンドリウム属(麻痺性貝毒) 500cells/mL ギムノディニウム・カテナータム(麻痺性貝毒) 0.1cells/mL カレニア・ミキモトイ(赤潮原因種) 1,000cells/mL コクロディニウム・ポリクリコイデス(赤潮原因種) 300cells/mL</p>					

